



△ 宿泊学習会の学習風景

<夏の学習…登校学習会と宿泊学習会>

8月1日(木)～5日(月)の5日間、夏季の**登校学習会**と**宿泊学習会**が行われました。夏季登校学習会は、普通クラスの生徒を対象に、本校のエアコンが設置されている教室を各学年の学習会場として割り当て、監督の先生やチューターの指導のもと、毎日最大7時間の学習ができるように計画されています。今年は猛暑のため、一部の教室でエアコンが不調となり、急遽会場を変更するというトラブルもありましたが、参加した生徒たちは、自分の計画に従って、集中しやすい環境の中で学習できたことだと思います。チューターとして、生徒の質問に対応してくれた卒業生は、東京大学や山梨大学（医学部）、東京学芸大学に進学した先輩で、様々な教科の質問にも丁寧に答えてくれました。

また、同じ期間に、西湖畔にあるホテル光風閣くわるびにて、理数科と理数クラスの生徒を対象に**宿泊学習会**が行われました。第1・2・3学年の理数科と普通科理数クラスのほぼ全員が参加したこの学習会では、朝から晩まで「**自学自習**」の形式で、**1日当たり10時間以上の学習**に打ち込む、文字どおり「**勉強漬け**」の5日間でした。こちらの学習会にも、東京大学や京都大学、山梨大学（医学部）に進学した本校の卒業生がチューターとして参加してくれました。卒業生たちは、生徒の質問に答えることはもちろん、自らの経験をもとに、大学生活の話や進学に関する相談などにも応じてくれ、参加した生徒たちにより刺激を与えてくれたのではないかと思います。

登校学習会や宿泊学習会でチューターを務めてくれた卒業生たちは、自身も高校時代に登校学習会や宿泊学習会に参加し、学習に励んで大学に進学した生徒たちですが、旧帝大や山梨大医学部などに在籍する学生がこれほど多くチューターとして後輩の為に参加してくれるのは、やはり甲府南高校ならではと云えるのではないのでしょうか。今回の学習会に参加した在校生たちにはぜひ、同じ学校で学び、部活動に励み、緑陽祭や歌声コンクールなどの取り組みに精を出した先輩を「**良きロールモデル**」として欲しいと思います。また、夏が終わると、現3年生は受験生としての生活の後半戦に突入することになりますが、ぜひ夏の頑張りをこれからの学習と生活に活かし、受験を乗り切って欲しいと願いますし、来年には、今度は自分がチューターとして後輩の為に力を貸す立場となって欲しいと思います。

こうした学習を中心にした行事に参加した生徒たちは、夏休みだからといって朝寝坊したり、夜更かししたりすることなく、普段の学校生活と同じような規則正しい生活を送ることができ、学習時間を十分に確保できたことだと思います。また、周囲で同じように勉強している仲間の姿に触発され、「自分も頑張らなくては」という思いを抱き、一人ではなかなか気持ちが続かずできないことも、みんなで頑張ればやりきれるという経験にもなったのではないのでしょうか。**受験は「個人戦でもあり、団体戦でもある」と**はよく言われますが、この経験をぜひ2学期以降の生活に繋げて欲しいと思います。

9月の進路関係行事

- 2(月) 代休
- 4(水) 小論文面接説明会③
- 6(金) 大学入試センター試験説明会③
- 7(土) 土曜課外①②
土曜講座①
登校学習会②
理社課外③
小論文課外③
- 13(金) 推薦委員会
- 14(土) 土曜課外①②
土曜講座①
登校学習会②
進駿マーク模試③
[～15(日)]
- 17(火) 月曜授業
- 20(金) 小論文ガイダンス②
プレゼンテーション講座③
- 21(土) 土曜課外①②
土曜講座①
登校学習会②
理社課外③
理数科説明会(午後)
- 26(木) 定期試験時間割発表
- 27(金) 大学出張講座②
- 30(月) 推薦委員会

<山梨大学入試情報>

8月21日に山梨大学において県内高校を対象にした入試に関わる情報交換会が行われました。今回は、その情報交換会で説明された内容について、ポイントを絞って紹介したいと思います。

令和2年度入試（現3年生向け）の注意点

★医学部医学科の令和2年度以降の入学定員は、20名減の105名となる。しかし、現在、これまでと同数になるように定員増（20名）の延長申請を予定。そのため、今後の動向を必ずHPで確認すること。

現状（令和2年度）

申請し承認された場合（令和2年度）

医学部医学科 定員105名（推薦15名、後期90名） → 定員125名（推薦35名、後期90名）

★工学部・情報メカトロニクス工学科の名称変更予定。令和2年度から「メカトロニクス工学科」に。ただし、情報が学べなくなるわけではないので、注意して欲しいとのこと。

令和3年度入試（現2年生向け）の注意点

- ★一般選抜（一部）、総合型選抜（今のAO入試）、学校推薦型選抜（今の推薦入試）において、「**多面的・総合的な評価のための申告書（A4・1枚両面）**」を**志願者本人が作成して提出**する。
- ★一般選抜（全学部）、総合型選抜、学校推薦型選抜において、**英語認定試験を「出願資格」として利用**。
- ★大学入学共通テストの記述式部分については、**数学はマーク式の得点と合わせて活用し、国語は記述式の段階を得点化（最大20点）して、マークの200点と合わせた220点分を200点に圧縮したものを、各学部・学科の配点に応じて換算**する。
- ★**教育学部は教科別の推薦入試、山梨県の小学校教員志望者推薦入試を実施。生命環境学部は前期に小論文**を実施し、また新たに**総合型選抜を導入**する。詳細については山梨大学のHPをご確認下さい！

<進路を考えるヒント>

NO IMAGE

今回の進路を考えるヒントは伊藤亜紗著「目の見えない人は世界をどうみているのか」(光文社新書)という本の紹介です。表紙のカバーには、現在、絵本作家として大人気のヨシタケシンスケさんのイラストが描かれていたので、読む前は、少しポップな雰囲気のエッセイなのかな？と勝手に思っていたのですが、非常に深い内容の本で、いい意味で予想を裏切られました。筆者の伊藤さんは本書にも書かれていますが、幼い頃から毛虫やザリガニなどの生き物を飼って観察することを好んだり、高校時代のいわゆる「内職」は生物資料集を眺めることというくらい、生物大好きな人で、最初は生物学者を目指していたそうです。しかしあることがきっかけで、東京大学の3年生の時に文転し、美学を専門として学ぶことになりました。生物学から美学へと学びは変わっても、「自分と異なる体を持った存在への想像力を啓発する」ことを美学の手法で実践するということは一貫していると伊藤さんは言います。そして研究を続けるうちに、「目の見える自分が目の見えない体に変身したい」という願望が生まれたそうです。「目をつぶればいいんじゃないの？」と思ったあなた。残念！「目が見えないこと」と

「目をつぶって視覚を遮断した状態」は全く別のことなのです。「なんで？」と思ったあなた。是非、この本を手にとり読んでみて下さい。この本を読むことで、「環世界（by ユクスキュル）」や「情報」と「意味」の違いといったことをヒントに、目の見えない人が世界をどのように見ているのかを、「空間」「感覚」「運動」「言葉」「ユーモア」といった各章の観点から知ることができます。そして人間の体の不思議さを知るとともに、「**自分の当たり前を疑う**」ことの**大切さ**も学べることでしよう！